

個別計画の目標に基づく採点基準（二酸化炭素排出量、ごみ量等）

基本目標 1 低炭素社会

評価項目		個別計画の目標	採点基準
1	区内における温室効果ガス排出量を減らす。 (二酸化炭素排出量を減らす)	地球温暖化対策実行計画（本基本目標に包含） ※2013 から 2030 年度までに 21%削減(17 年間)	17 年間で 21%削減⇒年約 1.24% 削減
2	区施設における温室効果ガス排出量を減らす。 (床面積あたりのエネルギー消費原単位を減らす)	中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画 ※2014 から 2020 年度までに 5%削減（6 年間）	6 年間で 5%削減⇒年約 0.83% 削減

基本目標 2 循環型社会

評価項目		個別計画の目標	採点基準
1	区内ごみ量(家庭ごみと事業系ごみの1年間当たりの総量)を減らす。	中央区一般廃棄物処理基本計画 2016 ※2014 から 2025 年度までに約 11%削減（11 年間）	11 年間で約 11%削減⇒年約 0.98% 削減
2	事業用大規模建築物従業員 1 人 1 日当たりの可燃ごみ排出量を減らす。	中央区一般廃棄物処理基本計画 2016 ※2014 から 2025 年度までに約 3.9%削減（11 年間）	11 年間で約 3.9%削減⇒年約 0.36% 削減
3	容器包装廃棄物の回収量を増やす。	中央区分別収集計画 ※2019 から 2024 年度までに約 8.9%増加(5 年間)	5 年間で約 8.9%増加⇒年約 1.78% 増加
4	家庭ごみ 1 人 1 日当たりの排出量(燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみの合計)を減らす。	中央区一般廃棄物処理基本計画 2016 ※2014 から 2025 年度までに約 19.2%削減（11 年間）	11 年間で約 19.2%削減⇒年約 1.74% 削減

※容器包装廃棄物・・・スチール製、アルミ製およびガラス製容器、ペットボトル、発砲スチロール製食品トレイなどのプラスチック製容器包装

※端数の関係上、総期間と年間の%が合わないことがある。

※総期間のカウント方法(例) 総期間→2019 から 2024 年度(5 年間)

2019	2020	2021	2022	2023	2024
基準年度 (前年度実績)	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目